

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 1 年
授業者氏名 佐野 登	
題材名 なんじ・なんじはんで、はみがきのじこくをつたえあおう	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 時計の「なんじ・なんじはん」の学習をしている子どもたちが、自分の歯磨きをする時刻について着目し、お休みの日の歯磨きの時刻を、友だちと伝え合ったりすることを通して、時刻と日常生活を関連付けて、時刻を読むことができる。	
学習材 算数教科書、プリント「はみがきの じこくしらべ」	
成 果 ・友だちと比較し、「早い時間だね」「けっこう遅いね」と語らいながら、時刻を紹介することができた。 ・朝と夜の時刻が同じで、一日には二回同じ時刻があると話題になり、時間について追及しようとする意欲をもてた。また、夜から朝にかけて、長い時間で、虫歯菌が増えてしまうと話題になり、夜の歯磨きの大切さについて考えることができた。	
課 題 ・これから算数で学習する「なんじなんぷん」の単元を終えてから実施する方が、より実生活に重ねて考えられ、成果が現れると思われる。	

学校名	本郷小学校	学年	2年
授業者氏名 辰野 亘			
題材名 「 タンギングを使ってなめらかに吹こう 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 鍵盤ハーモニカで曲をある程度吹けるようになってきた子どもたちが、吹いているときの口と舌の動きに着目し、タンギングを使ったときと使わないときの口の動きや音の違いを比較したり、タンギングを使った様々なリズムを通して、曲をなめらかに吹こうという意識を高めることができる。			
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・ 音楽会で演奏する曲 ・ 鍵盤ハーモニカ ・ 音の違い			
成 果 ・ 様々なリズムを吹くことで、指だけでは間に合わないと気付いた子どもたちが、自分の口の中の動きに意識を向け、吹くことができた。 ・ 曲を音がブツブツと切れないように吹こうという意識が高まったからか、全体的な音のつながりが出てきた			
課 題 ・ 楽器を使いながらがほとんどだったため、もう少し楽器を外した口だけの状態での活動も取り入れることで、より口の中の動きを意識できたと思う。			

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 3年
授業者氏名 守屋久美	
題材名 「レッツ パタカラ！」リコーダーで楽しく取り組もう その3	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 リコーダーで「パタカラ体操」のメロディを演奏できるようになった子どもたちが、音楽会で全校のみんなと「お口の体操」を行ったり、自分達がリコーダーで演奏したりするときに、1年生から6年生までが楽しい気持ちで体操を行ったり、自分達の演奏を聴いたりするためにはどんな工夫が必要か考えることを通して、改めてポイントを意識して体操をしたり、タンギングや音色にさらに気をつながらリコーダーを練習したりすることができる。	
学習材 ・リコーダー ・シナリオ ・発表に使う自作ボード	
成 果 ・ 音楽会のオープニングを飾る発表ということで、全校のみんなとパタカラ体操の舌や口の動きを意識して、「1年生がまねをするくらい大げさに」やってみる児童も出てきた。鏡を見たり、お互いの表情を見合ったりしながら楽しく取り組むことができています。 ・ 同じ音が続くことも多く、タンギングのよい練習にもなっている。音楽専科の簡易伴奏に合わせたり、自分達で「ワン・ツー・スリー・フォー！」「レッツ パタカラ！」などのかけ声も取り入れたりしながら、新鮮で楽しい気持ちで取り組むことができています。	
課 題 ・ パタカラ体操は、全校で今後も楽しみながら継続していけるとよい。 ・ 口の形や、発声の仕方、舌の動などを意識することは、日頃の話し方や歌声にも影響していく。国語科、音楽科をはじめ、ふだんの生活学習全般にもつなげていくことができると思います。	

学校名 本郷小学校	学年 4年
授業者氏名 塩澤 佑樹	
題材名 「 歯の健康を保つために 」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 パタカラ体操の歌を聞き親しんだ子どもたちが、合唱練習中の自分たちの口の開き方に着目し、パタカラ体操の口の動きをもとに、はっきりと口を開けたり舌を動かしたりしながら合唱練習することを通して、口と舌の動きが口腔内の健康を保つことに繋がることを実感し、今後の生活においても意識的に口と舌を動かそうとする素地を培うことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・パタカラ体操の口の動き	
成 果 ・曲中で「タ・カ・ラ」が入っているフレーズを練習する際に、パタカラ体操の口の動きを行ってから歌うことで、以前よりも発音がはっきりとした。 ・いつもの合唱練習よりだ液がでていたことを子どもたちが感じており、これまでだ液の性質を学んできた子どもたちにとって、口腔内の健康促進を実感しやすくなったのではないか。	
課 題 ・より学校生活の中で歯と口の健康に子どもたちが近づけるよう、2学期中には総合的な学習の時間の活動とも絡め、より自分たちの生活の中に位置付けていかれるよう、実践を計画していきたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 5 年
授業者氏名 横井 聡	
題材名 音楽会に向けて 歌声を支える口の動きを見つけよう	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、○○に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して (本時の中核的な学習活動)、○○する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。	
主 眼 音楽会に向けて合唱練習に取り組んでいる子どもたちが、歌声と口の開け方や動かし方との関係に着目し、歌声を出すための口の動きをよくする方法を調べて伝え合うことを通して、口の働きへの関心を高め、自分に合った方法を歌唱に生かそうとする力を培うことができる。	
学習材 ・ 音楽会で歌う合唱曲 ・ 口の開け方や動かし方について調べるための資料	
成 果 ・ 歌声をよくするためには、声の出し方だけでなく、口の開け方や動かし方も大切であることに目を向けることができた。 ・ 歌声を出すための口の動きをよくする方法を自分たちで調べ、互いに伝え合うことができた。 ・ 音楽会という身近な目標と結び付けることで、口の働きについて考える機会となった。	
課 題 ・ 調べて伝え合うことだけで終わらず、見つけた方法を日々の合唱練習の中で継続して試していく必要がある。 ・ 実際に取り組んだときの声の出しやすさや歌声の変化を振り返り、自分に合った方法を選ぶようにしていきたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 6年
授業者氏名 清水 友貴子	
題材名 食物連鎖	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、○○に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して (本時の中核的な学習活動)、○○する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。	
主 眼 理科「生き物と自然」の学習で食物連鎖について学んだ子どもたちが、動物の食べるもの (肉食・草食) の違いに着目し、食べるものの違いで歯の形にどんな違いがあるのか調べることを通して、それぞれの食べ物に応じて派の役割が違うことを知り人間の歯の形の役割に気づくことができる。	
学習材 図解資料 インターネット資料	
成 果 ・肉食と草食で発達している歯の役割の違いに気づき、人間 (雑食) は両方兼ね備えていることのすごさを改めて感じていた。 ・歯の形だけでなく、草食動物のあごの動きが草をすりつぶすのに適していることを知り、食べるときには歯と顎が連動していることを確認できた。	
課 題 ・自分の生活にどういさせるかまで、関連付けるのが難しい。	